



▲旧校舎から生徒の手によって運び出される教材など

思い出の夏休み

8月6日は、中学生たちにとって思い出深い1日となりました。というのもこの日は、2学期からの新校舎での授業に先立って、PTAの皆さんたちと一緒に旧校舎から新校舎への教材などの引っ越しの日となったからです。

机などは、新しくなるために運び出しはありませんでしたが、図書などは結構な重量。それでも、旧校舎から運び出す人、トラックに積み下ろしする人、新校舎に運び入れる人にわかれ、手際よく作業は進められました。



旧校舎から軽トラックで運搬



次々に新校舎へ運び込まれました

広報 ひがししらかわ

1995 平成7年 8 No.410

人口の動き

—7月末住民登録人口から—

世帯数	908	世帯
人口	3,374	人
転入	2	人
転出	1	人
出生	2	人
死亡	2	人

先月と比較して1人増
 昨年と同月と比較して
 36人減

村おこし に頑張る 働く 女性たち



毎晩遅くまで行われる朴葉ずしづくり (白川茶屋)

村の活性化を考えるうえで、今や女性の力は欠くことはできません。特産品の開発や、イベントの支援、ボランティア活動などにいたるまで、女性ならではの感性を生かした活動を多方面にわたって展開しています。

今月は、こうした女性ならではの個性を生かして、いきいき輝いて活動している女性の皆さんにスポットをあててみました。

今年6月、五加下野地内にオープンした「白川茶屋」。ここを管理運営しているのは、約五十人の主婦グループ美味作の皆さんです。

開店以来、評判も上々で、現在は鮎かけの時期とも重なって連日大忙しの毎日です。翌日の仕込みに忙しい白川茶屋を訪ねました。

家で作るのとき以上に 苦勞しています

白川茶屋で翌日販売分の朴葉ずしなどの仕込みが始まるのは、夜七時をまわってから。毎日五人づつの当番制になっています。集まる時間までに夕食を済ませ白川茶屋まで出勤してくることは、家庭の主婦の皆さんにとって、時間のやりくりは重大問題です。

お訪ねした日の当番は、大沢の皆さんで、今井捷子さん、今井修子さん、今井ふき子さん、今井恵美子さん、今井章子さんの五人。七時過ぎに訪ねてみると、すでに皆さんそろっての、朴



1つ1つ計量カップを使って...

葉ずしづくりが始まりました。

この日作られる朴葉ずしの数は、翌日特別の注文があるため百二十個。この日のように特別に注文が入らない場合でも毎晩七十個くらいは、仕込みで作られているようです。

商品として朴葉ずしを作る以上は、すしご飯の量が違っていたり、具の内容が違っていたり、というわけにはいきません。白川茶屋では、米一升につき四十個の朴葉ずしを作ることになっており、具の内容も、いたんだりしては大変ですから、そうした点も考慮してサケ、しぐれ、キャラブキ、青のり、紅しょうがの五品。もちろん上に載せる方向も決まっています。

最初は、皆さんがそれぞれ持ち寄った朴葉の選別。葉の形も極端に違って

いてはいけません。葉をきれいに洗
浄して並べ、味付けの終わったご飯
を載せていきます。『うちではいち
いちこんなことしないんだけど…』
とおしゃべりしながら均等にす
ために計量カップを使ってご飯を盛っ
ていきます。

一息つく暇もなく具を載せ、さら
に、できあがった朴葉ずしを漬ける
ためにかごにいれます。

朴葉ずしづくりの行程は、どこの
家庭でもほとんど同じだと思います
が、商品として作る以上は、特に衛
生面などには家庭で作るとき以上に、
心を配りながらなおかつ、ときばき
と作業は進められていきます。

自分たちの作ったものが よく売れた時は最高

広報の取材は、朴葉ずしを仕込み
終わるまででしたが、終わった時間
が午後九時。皆さんは、その後五平
もちの仕込みを行い、全てが終わっ
たのは、十時をまわっていたとのこ
と。朴葉ずしを作り終えた皆さんに
『美味作に参加されてどんなときが
一番楽しいですか』とインタビュー
してみました。『自分たちの作った
ものがよく売れたとき』、『朴葉ず
しや五平もちができあがったとき』、
『みんなでおしゃべりしながら料理
するとき』…。それぞれにお答え下
さいました。

白川茶屋へ訪れるお客さんは、村

内の人、鮎釣りの人、通りすがりの家
族づれなどさまざまです。美味作の皆
さんは、あるいはお勤めしている人も
あれば、主婦として家庭を切り盛りし
ている人もあります。この日の当番の
一人がこんなことを話してくれました。
『ご主人さまの理解があればこそです
よ』。村の新しい施設白川茶屋は、皆
さんの力で順調に運営されています。



『いい施設ができましたねえー』
と話してくれた黒川からのお客さん

『高齢化問題』は村にとって切
実な課題の一つです。平成四年か
らオープンしたせせらぎ荘は、お
年寄りたちの心のよりどころとし
て大きく貢献しています。

女性ならではの細やかな 心くばりが好評

平成四年の春から業務開始となった
高齢者生活福祉センターせせらぎ荘。
ここには現在、所長以下、今年から
新たに男女一名づつの職員を加え、男

性職員二人と七人の女性
職員が働いています。

現在、村内の三百三人
のお年寄りが利用申請を
して、デイサービスを受
けているせせらぎ荘では、
寝たきりや痴ほうなど介
護を要するお年寄りにた
くさん利用していただく
ため、月、水、金曜日を
こうしたいわゆる重度の
人の利用の日としています。その対象
となる人は、現在三十六人。多い人で
週二回、最低でも週一回利用が可能です。
一日約十二人の方が利用しています。

重度の人は、寝たきりであったり、
歩行が困難である人がほとんど、食事
を食べさせてあげたり、お風呂へ入れ
てあげたりといったサービスの提供は
男性職員ももちろん行いますが、
女性職員が中心になって行います。
中にはベッドからの上げ下げなど
かなりの重労働もありますが、女
性の細やかな心配りで利用者から
もまた、家庭介護者からも好評を
いただいています。

利用者からの感謝 のこぼれに感激

せせらぎ荘の業務は昼間だけで
はありません。現在は居住部門を
利用するお年寄りが一人あります
から、夜間や土、日曜日に無人に
しておくことはできません。居住



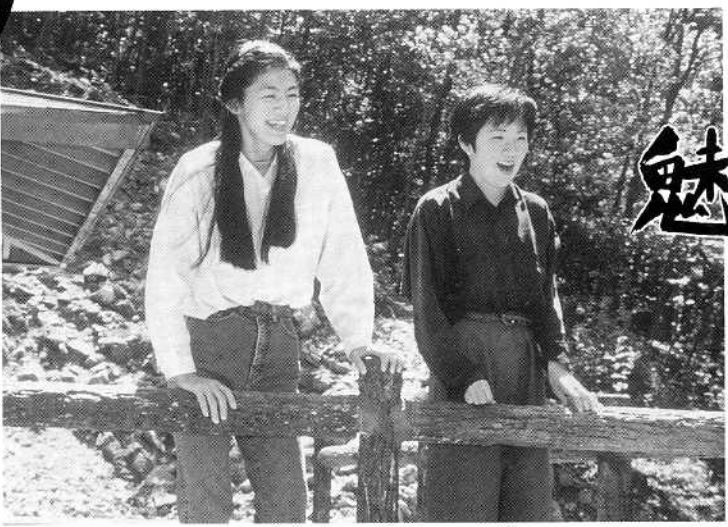
利用者との対話は明るい笑顔で…

部門の利用のあるときは、職員
は男女を問わず、休みの日の昼
間の日直と夜間の宿直を交替で
行っています。宿日直合わせると
月に一人平均四回あるとか。
宿直は、泊まっているお年寄
りがあるだけにかなり神経を使う
そうです。

今年の春から、新しく職員と
なった島倉久美子さん(西洞)
はこんな話を聞かせてしてくれま
した。『この仕事は、自分で実際体験し
てみて本当にやりがいいのあるものだ
と思います。今はまだ、お年寄りとお話
するにもなかなか名前が覚えられない
ような状態ですが、それでも帰りがけ
にお礼をいって下さると本当にうれ
しくなります』。この施設は、今後の高
齢化社会に無くてはならない施設です。



寝たきりのお年寄りを動かすことは大変な仕事



魅力ある山村づくりもお手伝い

“都会の女性の感性を生かして魅力ある農山村づくりのお手伝い”を目標に、森の交流大使のお二人（水谷理佳さん・広江加奈さん）が村に赴任して半年。全く新しい世界に飛び込んだ彼女たちにこの半年間を振り返ってもらおうインタビューを行いました。

お二人のそれぞれの活動は？

水谷さん…いい仲間、田舎体験ツアー”と、都会の方に田舎体験をしてもらうイベントの運営に携わっています。これまで山菜取りや五平もちづくりなどの内容で六回実施しました。全て名古屋市の婦人会の団体です。皆さん喜んで下さいますよ。

広江さん…味の館で商品開発に携わっています。今は、こもれびの館で使う“焼き肉のタレ”づくりを行っています。また、東白川村独自のカレーづくりにも取り掛かっています。

半年間、東白川に住んで

どんな印象を受けましたか？

水谷さん…村の人たちは、温かい人ばかりで、都会では、考えられないようなことですが、村の人たちがみんな知り合いのような仲良くお付き合いされていることは、とても素晴らしいことだと思えます。初めてあった人でも気軽に声を掛けて下さることは嬉しいです。広江さん…地域でのお祭りにも何度か参加

させてもらいましたが、大人のひと子どもたちとがとも仲が良くタテとヨコのつながりが、とてもしっかりしている所だと思います。

水谷さん…不便と感ずることはあまりありませんが、欲をいえば、休みの日などに友だちが県外から遊びに来てくれるようなとき、公共の交通機関が少ないことはちょっと困りますね。

広江さん…東白川村へ来る前に想像していたよりもずっと恵まれている地域だと思いました。しかし、買い物とかは、不便なので最近では、週末に家に帰ったときなどに買ったりしています。

“若者定住”を考えるうえで

お二人は何が必要だと思いますか

水谷さん…この村は、地理的にみると名古屋へ出るにも岐阜市へ出るにも二時間くらいで行くことができます。村に定職の場が整って

くれば、村を“生活の場”として遊びに行くようなときは、短時間で都会へ出

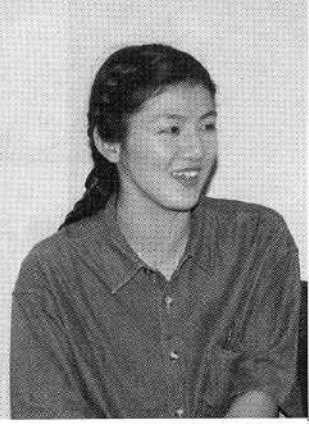


広江加奈さん
(各務原市出身)

ることが可能なので、健康的なこの村を“生活の場”と考える人を増やすことが大切なのではないでしょうか。

広江さん…都会と農村では、時間の流れ方がぜんぜん違うと思います。この村は“住む場所”として考えれば、自然が美しく、空気がおいしい最高の場所ではないかと思えます。仕事が少ないという問題はありませんが、例えば車で一時間圏内のところを考えれば、かなり職種も増えてくると思います。

水谷さん…私は、自分自身こうした山村での生活体験に興味があって交流大使になりました。それは、自分で体験してみても都会に住む、同じような考えを持つ女の人たちに農村の良さをPRして交流できる機会ができればと考えたからです。これからはそうした活動を行っていきたくと思っています。広江さん…山村での体験を通して、“日本の文化”を知りたいという目的で交流大使になりました。この半年間で、各務原にいてはできないことをたくさん経験できました。今後もちょうした経験をどんどんしたいと思っています。



水谷理佳さん
(四日市市出身)

「ふるぎしは同じ」交流大使の集い

東白川村を含め県下には、十町村が森の交流大使の受け入れを行っています。このほど東白川村の水谷さん、広江さんの呼び掛けによる「森の交流大使の集い」が七月十日から一泊二日の日程で行われ、十八人の交流大使を村に迎えました。

朴葉ずしづくりに鮎かけと盛りだくさんの研修会

今回の研修会は、赴任して半年間をそれぞれの地域で生活を送った交流大使の皆さんが、なかなか横のつながりを持っていないことから、活動状況や意見交換も行う意味で行われたものです。参加者は、他町村の交流



朴葉ずしづくりに悪戦苦闘

大使十八人と県林政部、森林組合連合会からの女性二人を加え、女性だけで二十一人という華やかな研修会となりました。

研修会の企画、運営は、発案者の水谷さん、広江さんのお二人。東白川村の魅力を都会出身の女性たちに紹介するというのもあって、研修のメニューには、「村内めぐり」を始め「朴葉ずしづくり」や「鮎かけ体験」など盛りだくさんの内容となりました。

深夜まで話題は尽きず 成果のあった研修会に

村内めぐりなどの初日の行程を終えた後の夕食は、こもれびの館の丸太小屋でのパーベキューパーティー。一日の疲れもどく吹く風で、懇親会の中では、各町村自慢の特産品も持ち寄って地域自慢、味自慢も披露…。

懇親会が終わった後も、遅かった人



鮎かけの講師は村の愛好家7人

たちは、午前一時ころまで話はずきなかつたようでした。

赴任先はそれぞれ違いますが「農山村に興味を持っている」という考え方は同じの都会育ちの彼女たち。東白川村については「福祉施設が充実している」、「私の赴任している地域でもこんな風にならたら…」といった感想も寄せられるなど、村に対して好印象を抱いたようでした。参加者の一人から水谷さん、

広江さんにこんな礼状が届きました。その一部を紹介しましょう。「『文化というのは風土から生まれる。風は外から来る人々で、土は、その土地の人々である』という話を聞いたことがあります。なるほど、と思います。土を活力ある状態に保つには風が必要です。風が強すぎると土はカサカサになってしまふし、風が吹かないと土は腐ってしまふというわけです。東白川村は、この風の取り込み方が上手いところだと感じました。風を取り込むには文化を発信することが必要です。新鮮な風で活力ある土をつくり、その土で育てた文化で、また新しい風を呼ぶのです。水谷さん、広江さん、ぜひさわやかな風となって土に働きかけて下さい!」。実りの多い研修会となったようです。

額に汗した交流会

去る八月四日から三日間、山村に興味を持つ都会の女性たちに田舎を満喫してもらおうイベント「額に汗して・田舎探検」が行われました。参加した皆さんは、森の交流大使に応募した二十三人。遠くは、東京や神奈川、香川県などから参加した人もありました。

初日は、村内めぐりなどいわゆる軽めのメニューでしたが、二日目は、その目的どおり、額に汗をしてもらうため新集村有林での枝打ち体験。この日は村内の男性の皆さん十七人も参加。炎天下の下、十時から二時過ぎまでのハードスケジュールでしたが、中には、「初めてだけどおもしろい」といった感想も聞かれるなど評判も上々。この日の夜は、枝打ち参加者全員の慰労を兼ねた立食パーティーも行われ、遅くまで盛り上がったようでした。



猛暑の中、頑張った枝打ち体験

お気軽にご相談ください

人づくりアドバイザー・営農アドバイザー制度



「若い人たちが、誇りをもって村に定住し、夢に挑戦できる村づくりをめざして」。将来の村を考えていくうえで、「若い人」の力は、必要不可欠です。一人でもたくさんの方の若い人たちが、村に魅力を感じて、村に定住してもらうため、このほど村では、こうした若者たちの将来設計を側面からお手伝いするアドバイザーを設置しました。

アドバイザーには

2つの窓口があります

【一】のほど発足したアドバイザーには、次の二つの窓口があります。

【人づくりアドバイザー】

このアドバイザーの活動は、若者の

担当している作物の栽培方法などの疑問にお答えするとともに、もし、アドバイザーが答えられないことは、農業普及員やJAなど専門家に聞いてお答えします。また、若い人の農業研修のお手伝いや農業後継者についての相談も承ります。

メンバーはそれぞれ
のアドバイザーに5人

【両】アドバイザーのメン

の将来設計に手をさしのべていくもので、ここへのご相談は、独身男女の皆さんの結婚についての相談や若い人たちの働く場所についての相談、若い皆さんの仲間づくり活動の支援や意見のとりまとめなどを行います。

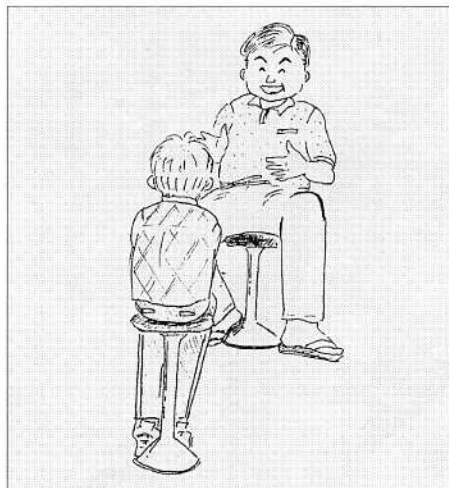
【営農アドバイザー】

このアドバイザーのメンバーは、農業各分野のいわゆるスペシャリストの皆さんです。ここへの相談は、



日付で村長から委嘱を受けた次ページの表の十人の皆さん。若者の将来設計のお手伝いや営農指導などその活動内容がとても大切なことだけに、その人選にあたっては、年齢や地域などを踏まえたうえで人望の厚い、リーダー的存在の皆さんをお願いしました。

「人づくりアドバイザー」には、五



加地区では柏本の栗本重秋さん、神土地区では、上親田の安江利英さん、中谷の樋口重福さん、越原地区では、栃山の安江博さん、大明神の安江一成さんの五人。また、「営農アドバイザー」には、ナスづくり担当に日向の今井大さん、野菜づくり全般の担当に陰地の松岡勝さん、トマトづくりの担当には大明神の桂川耕輔さん、畜産担当として中谷の高井吉男さん、そしてお茶づくりの担当には、中谷の安江美好さんの五人が就任されました。メンバーの年齢層も四十代くらいからで、時には良き先輩として、また時には良い兄貴分として、皆さんの相談の理解者となって下さる方たちばかりです。

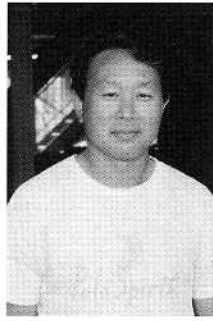


人づくり、営農アドバイザー合同会議のようす

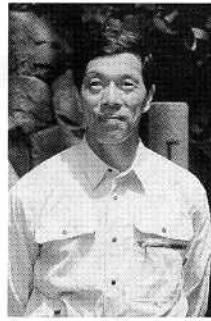
人づくりアドバイザー



安江一成さん(43)
〈大明神〉
〈有線 3644〉



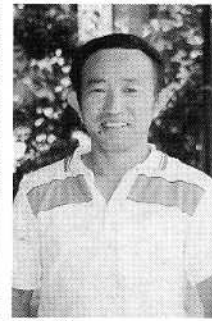
安江 博さん(44)
〈栃山〉
〈有線 3533〉



樋口重福さん(46)
〈中谷〉
〈有線 3022〉



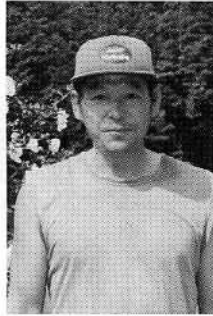
安江利英さん(44)
〈上親田〉
〈有線 2826〉



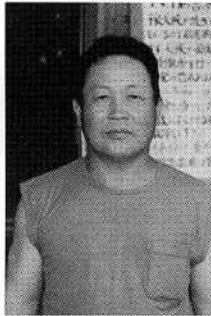
栗本重秋さん(45)
〈柏本〉
〈有線 3798〉



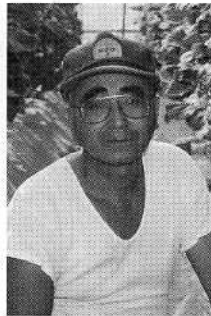
安江美好さん(46)
〈中谷〉
〈有線 3033〉



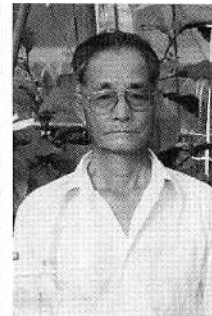
高井吉男さん(46)
〈中通〉
〈有線 5026〉



桂川耕輔さん(59)
〈大明神〉
〈有線 3695〉



松岡 勝さん(62)
〈陰地〉
〈有線 3433〉



今井 大さん(71)
〈日向〉
〈有線 3222〉

営農アドバイザー

両アドバイザーともに、その大きな目的は「若者定住のお手伝い」。それぞれ個人での活動はもちろんです。不定期に全体での会合を持ち、相談内容を持ち寄って、意見交換などを行うほか、村の結婚相談員の皆さんなども連携を取りながら、より適切なアドバイスを行っていきます。

秘密は固く守られます

お気軽にご相談を

アドバイザーに持ち込まれる相談は、その内容にかかわらず秘密は固く守られます。安心してご利用いただけます。

アドバイザーに相談を持ち込む時は、直接アドバイザーをお訪ねになって相談されてももちろん構いませんが、電話を利用して結構です。

もし、アドバイザー本人が留守のような場合でもその家族の方に相談したいことがあることを伝えていただければ、アドバイザーから連絡を入れるような適切な対応をとっています。

また、営農アドバイザーは、できる限り現地へ出向いて相談を聞くシステムになっていますので、こちらへの相談も電話をご利用下さい。

両アドバイザーの事務局は、役場農務課が行いますので、この制度に関する詳しい内容やお問い合わせなどは、農務課へお尋ね下さい。

どんな内容でも構いませんから、安心して気軽にご利用下さい。

投票率七一・八五パーセント

前回を下回る

参議院通常選挙結果

七月二十三日、第十七回参議院議員通常選挙の投票が村内五か所の投票所で一斉に行われました。村全体の投票率は、七一・八五と前回(八一・五〇)を下回る結果となりました。集落別では、西洞が八五・一とトップで、以下、黒淵、下野、大口、久須見の順でした。また、開票は、午後七時から役場別館大会議室で始まり、午後九時三十分を終了。

開票結果は次のとおりです。

☆岐阜県選挙区選出議員選挙

投票総数千九百七票、有効投票千八百六十五票、候補者別(得票順)大野明千六百一十一票、平田健二三百六十七票、岩崎昭弥二百一十票、山本博幸二百二十七票

☆比例代表選出議員選挙

投票総数千九百七票、有効投票千七百九十六票、政党などの得票数(上位七位まで記載、以下省略)自由民主党九百六十三票、新進党三百五十七票、日本社会党二百二十票、日本共産党二百十五票、スポーツ平和党三十一票、新党さきがけ二十八票、日本福祉党十三票

おしらせ

こんにちは 社協です

先日、小学生ボランティアがせせらぎ荘を慰問しました。一緒に折り紙をしたり、お手玉や将棋をしたり、和やかな雰囲気にも包まれた午後ひとときでした。

その日のおやつは子供たち手作りのゼリーと野菜チップス。一緒に食べたこの味は、きっと最高だったことでしょう。

戦没者等の遺族の皆さんへ

「戦没者などの遺族に対する特別弔慰金支給法」が改正され、戦没者などの遺族に、戦没者一人につき額面四十万円（十年償還）の特別弔慰金が支給されます。

【支給の条件及び対象者】

満州事変（昭和六年九月十八日）以後の戦没者などの遺族で、平成七年四月一日において公務扶助料、遺族年金などの年金受給権者がいない遺族に限られ、次の順序による最も先順位の遺族のうち一人が対象となります。

- (1) 弔慰金受給権者
- (2) 戦没者等の子
- (3) 戦没者等と生計をともにしていた①父母②孫③祖父④兄弟姉妹（婚姻、養子縁組により平成七年四月一日において氏が変わっている人は除かれます）
- (4) ③以外の①父母②孫③祖父④兄弟姉妹
- (5) ①から④以外の三親等内

の親族（戦没者等の死亡まで引き続いて一年以上生計をともにしていた人）

【請求手続】

該当する遺族の請求に基づいて支給されますので、役場住民課で備え付けの請求書とともに、必要な戸籍などを添付して手続して下さい。

【請求期限】

平成十年三月三十一日

※詳しくは、役場住民課または、県庁厚生援護課まで。

平成8年版県民手帳

予約受付中

県民の皆さんに親しまれている「岐阜県民手帳」が県統計協会から発行されます。

県勢、市町村勢が一目でわかる最新の数値を掲載した各種統計資料、日常生活に役立つ事項などを収録した便利で使いやすい手帳です。

【サイズ】十六・九×九・一

【総ページ数】一九〇ページ

【色】紺・エンジ、グレー、白の四色

【価格】四五〇円

【申込方法】班長さん、組長さんを通じてお申し込み下さい。

※詳しくは、役場企画財政課（有線五一八五）まで。

毎週第二土曜日は

「県民環境の日」

平成七年四月から施工された岐阜県環境基本条例に基づいて毎月第二土曜日が「県民環境の日」と定められました。

この日は、県民や事業者がそれぞれの立場で、豊かで快適な環境の保全と創出についての関心や理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めたいこうという日です。

この日には、自分のまわりの環境について家族で話し合います。家のまわりを掃除しましょう。植樹や花づくりを推進しましょう。リサイクル活動に協力しましょう。まずは、身のまわりの簡単にできることから取り組んでいきましょう。環境を守るには一人一人の行動が必要です。

道がくらしを運びます 道がえがおを運びます



8月1～31日 道路をまもる月間

故郷の 香り漂う 道の駅

保健婦だより

夫と妻

賢い付き合い方
例え長い歴史を刻んだ夫婦でも、いつてならないことがありません。何気ない一言が夫婦の溝を作ることも…。

△夫と妻 禁句集▽

【夫の場合】

- ・オレが食べさせてやっている。
- ・家で子守だけやってるくせに。
- ・おまえもババアになったなあ。
- ・ブス、のろまバカ…。

【妻の場合】

- ・給料安いわね
- ・あなたとなか結婚しなければよかった。
- ・あなたのお母さん大嫌い。
- ・外で何しているかわからない。
- ・デブ、ハゲ、短足…。

お忘れなく 現況届

児童扶養手当は、父母の離婚などの理由で、父親と一緒に暮らしていない、母子家庭などの生活の安定と自立を助け、子どもの心身や健全な成長のために支給される手当です。受給の対象となっており五年経過すると請求ができませんのでご注意ください。なお、現在受給している方は現況届の提出をお願いします。また、精神または、身体に障害を有する児童を監護する人に支給される特別児童扶養

手当を受給している方も現況届の提出をお願いします。
※詳細は、住民課まで。

警察官を募集します

岐阜県警察本部では、来春採用予定の警察官、婦人警察官、婦人補導員を募集します

【受験資格】

- ①警察官B、婦人警察官B
昭和四十一年四月二日から昭和五十三年四月一日までに生まれたもので、学校教育法に基づく大学(短大を除く)を卒業または平成八年三月三十一日までに卒業見込みの者、

以外の人

②婦人補導員 昭和三十五年四月二日から昭和五十一年四月一日までに生まれたもので(1)大学において心理学、教育学、または社会福祉学を専攻し卒業または、平成八年三月三十一日までに卒業見込みの者(2)教育職員免許法に基づく教員免許必要単位を修得、または平成八年三月三十一日までに修得見込みの者。

【受付期間】八月十四日～九月一日まで
※詳しい内容と申し込みは、県警察本部 ☎〇五八(二七二) 二四二四まで

去る六月二十八日に開かれた岐阜県人権擁護委員連合会の席上、村の人権擁護委員中島癸一さん(西洞)が「全国人権擁護委員連合会長表彰」を授与されました。
今回この賞を受賞されたのは、中島さんを含め県内で十八人。中島さんは、昭和六十二年から村の人権擁護委員として三期九年間、また、現在も現役としての活動が高い評価を受けたものです。

けいじばん

【戸籍】 (敬称略)

● 誕生おめでとうございます

(陰 地) = 安江 智樹 と賢人
文子
(神 付) = 今井 輝久 なつ夏輝
美和

● いつまでもおしあわせに

{ 佐々木英雄 (美濃加茂市)
安江比奈子 (陰 地)

● おくやみ申し上げます

今井真知子 43歳 (陰 地)
安江 みつ 92歳 (下親田)

【善意】 (敬称略)

【中学校備品購入指定寄付】

現金100万円 = 熊崎道一(平)

【自然環境保護指定寄付】

現金58,472円 = 蔵ちゃん杯参加者一同
→ 7月16日に行われた鮎かけ大会蔵ちゃん杯に参加した70人の皆さんが、かけた鮎を換金し、白川河川美化に役立てて欲しいと村に寄付されました。

【社会福祉協議会へ】

現金5万円 = 安江里巳(下親田)

【病院・せせらぎ荘へ】

飲み茶15キロ = 東白川茶業振興会

【東白川小学校へ】

英和辞典1冊 = AETクリストファー・サイスキー

飲み茶15キロ = 東白川茶業振興会

【東白川中学校へ】

英和辞典1冊 = AETクリストファー・サイスキー

飲み茶15キロ = 東白川茶業振興会

【神土保育園へ】

お手玉100個 = 安江すみ(西洞)

飲み茶10キロ = 東白川茶業振興会

【越原保育園へ】

飲み茶10キロ = 東白川茶業振興会

【五加保育園へ】

飲み茶5キロ = 東白川茶業振興会

TOPICS

歌声

音楽を通じて
若い人たちの支援を



イカスマンズの演奏

去る七月十六日、はなのき会館でアマチュアバンド三グループによるチャリティーコンサートが開かれました。出演したのは、下呂町のコリニュージョン、加子母村のイカスマンズ、そして東白川村のインスタマンズの皆さん。今回の仕掛役インスタ

マンズのメンバーは、桂川一喜さん(陰地)、安江繁人さん(平)、田口和隆さん(下野)、今井明徳さん(柏本)の四人。実は、この四人は同級生。五月ころ、同窓会の打合せの席でグループ結成となりました。コンサート開催にあたっては、村内外の民間企業二十八団体から協賛金を募ったもの。また、収益金の五万七千七百十三円は、中学校のブラスバンド部へ寄付されました。

リーダー桂川さんは「予想以上に盛況でした。今後音楽を通じて若い人たちの育成や村の文化の活性化となるような活動を続けたい」と話してくれました。



インスタマンズ桂川さん、安江さん

着手

村の林業に朗報
産業団地の製材工場起工

「村の林業に変革」。去る六月十八日、中の産業団地で新しい製材工場の起工式が行われました。

この施設は、昨年村内の製材業者や素材業者などで設立した「東白川製材協同組合」(代表理事・今井猛夫さん)が主体となって建設するもので、今年度中には工場棟と倉庫棟、管理棟が完成し、八年度には機械が導入され、来年秋くらいから稼働する予定になっています。

この工場に導入される「ロボットツイインバンドソー」という機械は、製材工場の人手不足や低コスト生産に対応するため、コンピュータ制御による木取りのロボット化で工場の省力化、合理化を実現するとともに、高速生産、安定精度を可能にします。

より早く、より正確な製品を作り出すことが可能となるこの工場の完成は、これまでの村の製材業や素材業の常識を一変させるもの。

「若者定住」という大きな問題を考えるうえでも、村の新しい雇用の場として、大きな期待が寄せられています。



起工式の様子

評判

まごころと技で
築いた三百棟



300棟目の目録贈呈式

「まごころ」と技で創る安心住宅」をキックオフに昭和六十二年からスタートした産直住宅東白川の家。初年度八月に一棟目の上棟式が行われてから足掛け十年にして、このほど三百棟目の上棟式が行われました。

この産直住宅東白川の家は、昭和六十一年結成された東白川村木造建築協同組合(村雲兵衛代表理事)が、住宅建築競争激化の中で、村の特産東濃ヒノキと白川大工の技を一つにして、また県や村の行政施策と連携をとりながら強力に進めてきたものです。

同組合では、商談のあったお客様に特典として「東濃ヒノキのふるさと東白川へ一日招待」や「ふるさとの味プレゼント」、産業祭への招待などを行うほか、上棟式の際には、村からも十萬円の補助を贈っています。

七月二十九日の三百棟目の上棟式は、川辺町のお客様。村雲代表理事と村から助役、同組合の事務局をつとめるふるさと企画の安江豊司チーフが出席し、目録贈呈を行いました。

話題集まれ!

着任

クリス先生の後任は
ナンシー・カスコ・ナカタニ先生

クリス先生に代わる新しいAET(英語指導助手)として、このほどナンシー・カスコ・ナカタニ先生が着任されました。

ナンシー先生は、ご両親ともに広島県のご出身。つまり純粋な日本人となるわけですが、おじいさんの代にアメリカへ移住されたため、先生は、生まれがカリフォルニア、育ちがロサンゼルスというれっきとしたアメリカ人です。

昨年夏に、生まれて初めて日本の土を踏んだナンシー先生。二か月のホームステイだったのですが、その滞在先だった郡上八幡が大変気に入ってAETを希望されたようです。

ご両親が日本人ということもあって、日本語は何でもOK。日本語は話すにはあいさつ程度ですが、相手の話し言葉はほとんど理解できるとか。「学校では、子どもたちと対等に話したい」と話してくれた先生は、大学を卒業したばかりのフレッシュな二十二歳。子どもたちとの対面は二期からですが、クリス先生同様人気者になることでしょう。



新しいAET ナンシー先生

開始

八月一日「水の日」に
給水開始の簡易水道

今年の八月一日は、村にとっても岐阜県にとっても歴史に残る日となりました。と、いうのは、この日、大明神の浄水場で「東白川簡易水道通水式」が行われ、村内の先陣をきって大明神と黒淵の一部、栃山地内で本格給水が始まったからです。県下九十九市町村の中で、最終となった東白川簡易水道。この日から三地区の百十戸で、また九月一日からは、小谷、大林洞を除く日向、陰地地内百三十戸で水道料金が必要な本格給水が始まります。



通水式であいさつする桂川村長

通水式では神事の後、村長が通水稼働式として機械器具のスイッチを押し、浄水場の前処理機、ポンプなどが一齐に稼働、各家庭への給水が始まりました。折しもこの八月一日は「水の日」。記念に残る水の日となりました。

本格給水が始まると委託を受けた検針員さんが毎月二十〜二十五日ころ水道メーターの検針に伺います。この検針で、その月の水道料金は決定されます。いつも正しい検針ができるようメーターボックスのまわりを清潔にしたり、ボックスの上に物を置いたりすることのないようお願いいたします。なお、料金などについてのお問い合わせは役場水道係へお尋ね下さい。

研修

未来の農業経営者
村の農業を体験



安江敏治さん(日向)巨場にて

去る八月八日から三日間、岐阜県農業大学の学生を招いて「農業体験学習」が行われました。この研修は、将来農業経営者を目ざす大学生に中山間地域における農業の形態を視察してもらうとともに実際に体験してもらうというものです。参加者は、来春卒業していく二年生で、荒井俊貴さん(関市)、片野治樹さん(平田町)、村松克樹さん(中津川市)、本田元治さん(大垣市)の四人。

初日の村内めぐりでは、いろいろな施設が整っていて驚いた。もう少し家族で遊べるような場があれば……といったご感想。

二日目には、トマトの収穫、選果、味の館での加工を体験。

全員その専攻分野こそ違いますが、終始熱心に実習。夜には村の農青塾の皆さんとの交流会も行われました。



味の館ではジュース作りを体験



今月の笑顔さん

みんなが公園…のよつたなへーじ

「またいつかお会いできる日まで…」
前AET クリストファー・サイスキー

(本文訳…安江祥江教育委員会主事補)

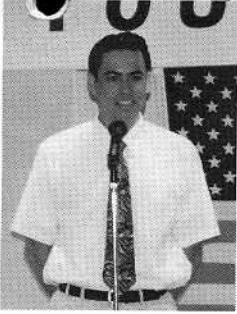
「アロハノ」東白川村の皆さんこんにちは。AETのクリスマスです。皆さん元気に過ごしていらっしゃいますか。

僕は、もうすぐこの美しい村を離れなければならぬかと思うと、とても残念な気持ちです。僕は、七月の終わりに日本を離れ、フィリピン、タイ、ネパール、ヨーロッパを旅行してアメリカに帰るつもりです。ニューヨークへ帰っても、まだ何をするかは決めていません。でも、きつと元気で過ごしていることだろうと思います。

八月には新しいAETのナンシーが来ます。彼女はきつと素晴らしいAETになると思っています。どうか僕にして下さったように彼女に接してあげて下さい。僕は、日本での思い出を一生の宝物にしたいと思っています。そしていつの日にかまたこの村を訪れたいと思います。もし、子どもたちがホームステイをする機会があったらいつでも訪ねて下さい。

お便り

皆さんの幸せを願いつつ、またいつかお会いできる日まで…。



お別れ会であいさつする
クリス先生



職場から

ふるさと企画
今月は、中元商戦に忙しいふるさと企画を訪ねました。ふるさと企画のお中元の一番人気は、何と

いってもジュース類。トマト、りんご、しそに加え、今年は新たに梅ジュースも登場。四〜六本くらい詰合せが一番売れ筋だとか。

特産品のお中元の中でも根強い人気をもつ商品に天然の鮎を冷凍にした「白川の天然あゆ」があります。

今年状況を伺ったところ解禁から受け入れ期間中の七月いっぱいまでに約二百箱分(一箱に鮎四匹)の入荷があったとのこと。入荷する人のほとんどは村内の人で、解禁のころこそ数が少なかったようですが、後半に入って数も大きさも例年なみになってきたそうです。お中元に清流白川の天然鮎いかがでしょうか。



わが家のスター



▲安江 梓ちゃん
(正隆さん・眞里子さん
黒洲)

「帰省」という言葉は夏の季語である。帰省そのものは夏に限らないが、お盆。ふるさと。墓参り。やっぱり田舎はいいなァ……という具合になるのであります。

帰省子に恩師小さくなられけり 角 光子

久しぶりのクラス会で会った小学校時代の先生、まあなんとお年を召して、歳月の流れをつくづくと感じさせます。

帰省子の東京もんにかぶれちよる 火箱遊歩

慣れない標準語なんか使っちゃって、あの子も変わったものだ。でも今夜は浴衣姿で夏祭り、ほのかに想いを寄せていた人に会えて、今年の帰省楽しかった。逢う前の浴衣の糊の強かりし 石橋幾代

2 ツーショット 1ターン夫婦



渡辺洋久さん、温子さん（日向）

都会の人が田舎へ移住することを1ターンといいますが、今月は、大阪府河内長野市から1ターンされ、現在日向の山下荘にお住まいの渡辺洋久さん・温子さんがご夫妻を訪ねました。

「自然環境の良い所で農業をやりたい」という希望をもって洋久さんが、村に初めて訪れたのが昨年十月。東白川を定住の地と決めるまでには、遠くは、四国や鳥取、県内でも清見や下呂などあちこち見てまわったそうです。「初めてここへ

お詫びと訂正

先月号のツーショットの樋口美也子さんは、樋口真也子さんの誤りでした。お詫びし訂正します。

今月のことば

人類が未来に希望をつなぐためには、今こそ勇氣と決断をもって核兵器のない世界の実現に取り組まなければならない。

平成七年広島平和宣言より・平岡広島市長

来たとき、村長さんが「これは自然環境を大切に作る村でゴルフ場建設などもやりません」という言葉を聞いて決めました。今はお借りした神付と日向のほ場で野菜づくりをしています。

大阪生まれの大阪育ちの奥さんは今年三月村民に。

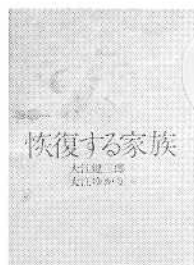
「考えていたほど不便さは感じませんし、ご近所の方が本当にいい人ばかりで、ここへきて良かったと思います」とのこと。今後は、家を建て本格的に腰をすえたいと話してくれました。



「下野」という地名の起りは、白川の流域に沿って、山裾に展げた原野とでもいう意味であろうか。（新修東白川村誌より）。地名の由来がはっきりとわかっていない下野地区。この地区には、昭和二十年ころまで続いた「五加鉾山」がありました。この鉾山は、江戸時代初期に開設されたと伝えられており、鉾山面積は約三十三畝、銀や銅を産出していました。最盛期の大正のころには、下野地区に、製錬所が設けられ、当時の製錬所からの排煙のため近くの桑の葉が枯れるなど煙害が問題になったと、村誌はそのころの状況を今に伝えています。

現在の下野は、五加バイパスの開通で、主要道が柏本から移り、白川茶屋もお目見えするなど、岐阜方面からの新しい村の玄関口として、その姿は大きく変貌を遂げています。

図書室発・あなたへ



「恢復する家族」大江 健三郎著

「妻の思い出では、知的な発育の遅れはしだいにあきらかになつたのに、光は赤ん坊の頃から、音楽に敏感に反応していったということです。」

人の心を癒し、快復させる力とはいったいどこにあるのでしょうか。父のやさしい文と母のあたたかい画が、きっとその答えを見つけてくれるでしょう。受賞後初の、感動的長編エッセイ！

ホットアングル



「ここは、川もいいけども、住んでいる人が最高」と話してくれたのは、「安城のおじい」こと増尾舜さん（73）。増尾さんが、白川に鮎掛けに訪れるようになって10数年。朝2時過ぎには自分で車を運転してはるばる安城からやってくる大の白川ファン。多いときには、週3回も訪れるとか。「朝晩に通学の子どもたちが見ず知らずの私に声を掛けてくれるので本当に嬉しくなりますよ」と話してくれました。



「20匹め」と元気な増尾さん

このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればホラ！
1歳のあの子の顔が……

長梅雨や座敷をよぎる蟻の列
 過疎すゝむ虹のむこうに虹かけて
 除草剤梅雨の晴間に背負って出る
 梅雨明けを待たず級の友遊けり
 軽やかに廻す経蔵塔夏の寺
 裏山に植林し身の安らげり
 五十年永くみぢかし終戦忌
 蟻の荷はこゝまで来しが思案顔
 つゝじの園越えて橋は門へ向く(古いもの館にて)
 さんしゆうの黄へ水音あつまれり
 合はす掌の指間をもるゝ螢の火
 埋るだけ埋りて廃車葛茂る
 王花よりすゞらの花いとおしき
 鏡台の造花洗ふや室涼し

日向 安江一摘水
 栃山 安江 市助
 栃山 桂川 喜郎
 加舎尾 新田 義男
 平 安江 武子
 西洞 河田あや子
 平 今井 統子

鶯の鳴き移る山清々し
 ねじ花静かに風を捲き上る
 葉桜や昇殿参拜廊長し
 雷や日本の雨期をしめくゝる
 藤棚へ老母たゝづみ雨宿り
 秋祭りとぶや楽の音賑やかに
 清流に赤鮮やかな岩つゝじ
 花菖蒲餅競り上ぐる鯉の群
 鉄線は見事に咲いた初夏の日に
 梅雨寒や老の身かばい重ね着す
 幽明わかつ火葬の鉄扉や梅雨晴間
 雷雲の念力貯めるか北の嶺

曲坂 莉田 清美
 日向 田口 秋映
 加舎尾 今井 周一
 平 安江 すみ
 平 安江 すみよ
 西洞 河田 重喜

あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を
 歓迎します。奇数月の二十日までに神上河田重喜宛に出して下さい。

発表の作品



「バラのはな」▶
 五加保育園
 こいけあきらくん
 (大沢)

▲「バラのはな」
 五加保育園
 やすえたかまさくん
 (宮代)



東白川小学校5年生▶
 松沢裕美子さん
 (平)

▲「どうぶつえん」
 東白川小学校2年生
 安江典貴さん
 (大明神)



▲「手の塑像」
 東白川中学校2年生
 古田純平さん (西洞)

▲「手の塑像」
 東白川中学校2年生
 田口大介さん (加舎尾)



人間なんて
 勝手なもので
 す。雨が続け
 ば雨の恵みは
 頭から離れて晴れの天気を恋
 しがる。一方、梅雨があけて
 一気に夏空が広がり、水銀柱
 がぐんぐんあがると一雨が欲
 しくなる。そして、体のパテ
 も著しくなってきました。▼昔
 と変わらない暑さのはずで
 が、これを受け止める人間の
 側が変化してきたのでし
 ょうか。▼そういえば、日中走る
 車を見れば窓を締めきったの
 がほとんどですし、勤めてい
 る会社や家は、エアコンのファ
 ンがブンブンというのが普通
 になってきました。このよう
 な生活は、ますます自然と調
 和させて生き抜く能力をもつ
 た人間を退行させてしまいま
 らう気がします。▼人間は、
 自然のなかでたくましく生き
 抜けるDNAを受け継いでい
 るのに、便利さや快適さを求
 めるあまり、体の適応力を退
 化させ、ひ弱になりつつ次代
 につなげているような感を覚
 ええます。▼生暖かい風を送る
 扇風機に感謝。(M)